

寒地の溪流に突き出ている「タチガイ」
かわしんじゅ貝生息地



指定区分	県指定天然記念物
読みかた	かわしんじゅがいせいそくち
所在地	真庭市蒜山上徳山・下徳山・上福田
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	カワシンジュガイ科の二枚貝。溪流の小石の間に斜めに突き出すので「タチガイ」とも呼ばれる。貝殻は卵形で殻長約12cm、殻の表面は黒く、内面は真珠光沢が強い。寒地を好み、欧州・アジア・アメリカ各大陸の極地地域に生息している。日本では本州の日本海側と北海道に分布している。県内では真庭市の旧川上村の天谷川・小原川等にわずかに生息している。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	かわしんじゅ貝生息地
よみかた	かわしんじゅがいせいそくち
しょざいち (所在地)	真庭市蒜山上徳山・下徳山・上福田
していしたひ (指定した日)	昭和34年3月27日
せつめい	カワシンジュガイとは、寒(さむ)い場所(ばしょ)のきれいな川などに住(す)んでいる二枚貝(にまいがい)です。貝がらは黒色で、およそ12センチの大きさで、玉子(たまご)のような形(かたち)をしています。